

キトサンで胆汁酸ダイエット ～胆汁酸吸着レジン(樹脂)の性質を持つキトサンの作用～

キトサンの抗メタボリック・シンドローム効果

生活習慣
(エネルギー過剰)

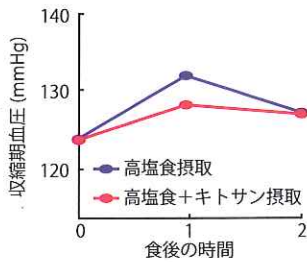
内臓脂肪
蓄積型肥満

・脂質異常
・高血圧
・高血糖

・高脂血症
・高血圧症
・糖尿病

動脈硬化
(血管の老化現象)

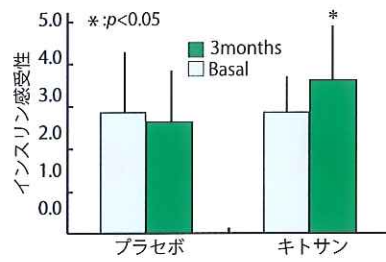
血圧に対する作用¹⁾



- 健康な男性：7名 (22歳～25歳)
- 高塩食摂取 (食塩 13g, 1,100kcal/朝食)
- 1h, 2h後に血圧測定
- 1週間後の同時刻に、同じ高塩食+キトサン 4gを摂取

キトサンは、血圧の急激な上昇を押さえた

インスリンに対する作用²⁾

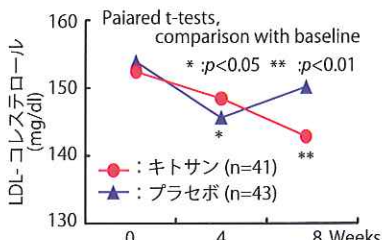
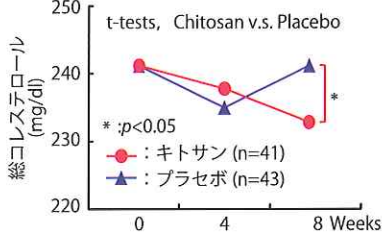


- ランダム二重盲検試験 (3ヶ月)
- 肥満被験者：12名 (糖尿病患者除く)
- キトサン 2,250mg (750mg×3) 食事 30分前に経口投与

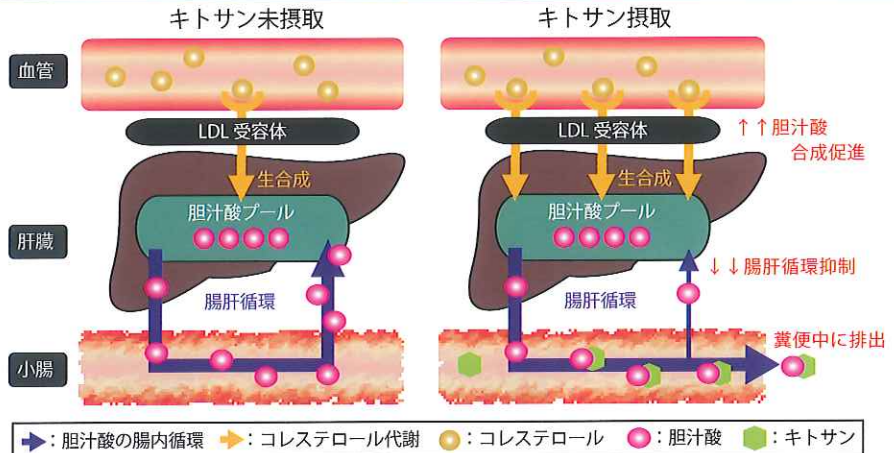
キトサンは、肥満被験者のインスリン感受性を改善する

キトサンのコレステロール低下作用

コレステロールに対する作用³⁾



キトサンによる血中コレステロール低下作用と胆汁酸合成促進作用のメカニズム



キトサンが胆汁酸と結合して糞便中に排泄されることにより、胆汁酸の腸肝循環が抑制され、体内の胆汁酸プールが減少する。その結果、血中コレステロールから胆汁酸の合成が促進され、血中コレステロールが減少すると考えられる。

- ・脂質と結合、吸収する働きを持つ胆汁酸は、近年、内臓脂肪を燃やし血糖値を下げる働きがあり、腸内の胆汁酸を胆汁酸吸着レジン(樹脂)に吸着させ、便と一緒に排泄することが効果的と報告されている(「胆汁酸ダイエット」)⁴⁾。
- ・キトサンは、コレステロール低下作用があり、そのメカニズムは、血中コレステロールから胆汁酸の合成亢進によるものと考えられる。これは、血糖改善が報告された胆汁酸吸着レジンと同じ性質である。キトサンは、単独でメタボリックシンドローム対策(脂質異常、高血圧、高血糖)に包括的に対応でき、「胆汁酸ダイエット」が期待できる素材と考えられる。

参考文献 1) Kato H. et al., J. Traditional Medicine, 11, 198-205 (1994).
 3) Bokura H, Kobayashi S, Eur J Clin. Nutr., 2003, May;57(5):721-5.

2) Hernández-González SO et al., Nutr Res. 2010 Jun;30(6):392-5
 4) Watanabe M., ANTI-AGING MEDICINE. 2013; 9(4):054-063.



甲陽ケミカル株式会社

大阪本社:530-0051大阪府北区太融寺町1-17 (梅田アスカビル) TEL. 06-6365-1666 FAX. 06-6365-1757
 東京本社:102-0072東京都千代田区飯田橋3-11-15 (UEDAビル) TEL. 03-3556-8830 FAX. 03-3556-8831
 境港工場:684-0046鳥取県境港市竹内団地217 TEL. 0859-45-3086 FAX. 0859-45-3087